



CS黒中の目指す生徒像

CS合言葉「繋」

ふるさとを愛し、正しい心もち、主体的に行動する生徒

ふるさと

- ・ふるさとの価値に気付く
- ・ふるさとに貢献する

学ぶ・考える

- ・自分事にする手立てを工夫する
- ・学んだことを再構成できる

心

- ・「正しい心」をもつ
- ・感謝の心を磨く

鍛える

- ・体力を向上させる
- ・自己管理能力を高める

知「主体的に思考し、粘り強く学び続ける生徒の育成」

1 授業改善の推進

- ・胎内市授業スタンダードの定着
- ・「課題の設定」「振り返り」の工夫

2 基礎学力の定着と向上

- ・タブレットの効果的な活用
- ・基礎学力テストの恒常化

3 授業規律・基礎技能の徹底

- ・「学習三原則」「聴き方・話し方」

4 家庭学習習慣(生活習慣)の定着

- ・「家庭学習強調週間」の
- ・プランニングタイムの有効活用

徳「社会性を身に付け、利他を考え行動する生徒の育成」

1 社会性を育てる活動の充実

- ・奉仕活動やボランティア活動の充実
- ・小中連携の取組の充実

2 キャリア教育の充実

- ・CS「共に学ぼう」プロジェクトの充実

3 道徳教育の推進

- ・「考え議論する道徳」の授業実践
- ・道徳的諸価値の理解と実践

4 自己指導能力の伸長

- ・あらゆる教育活動における自己決定、自己有用感、共感的人間関係の機能化

体「自己管理能力を高め、果敢に挑戦する生徒の育成」

1 セルフマネジメント力の育成

- ・メディア視聴の改善
- ・小中連携によるパワーアップ週間の継続した取組の徹底

2 一学校一取組の実践と充実

- ・体力向上に向けた意識の醸成
- ・体育の授業や部活動におけるトレーニングの計画と実践

3 安全に対する意識の高揚

- ・災害発生等も含め、「自分の身は自分で守る」意識の高揚

評価目標

- 生徒アンケートで、「考えること、解決することがはっきりしている」、「粘り強く取り組もうとしている」「分かったこと分からなかったことが明確」のA評価が70%以上となる。
- 「授業が分かる」と答える生徒の割合を90%以上にする。
- 家庭学習強調期間の記録をもとに、毎回改善策を記述させる。

評価目標

- 「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う生徒の割合を75%以上にする。
- 将来の夢や目標をもっていると答える生徒の割合を90%以上にする。
- 生徒アンケートで、「いじめは絶対にいけない」と答える割合が100%となる。
- 「学校に行くのが楽しい」と答える生徒の割合を85%以上にする。

評価目標

- メディア使用に関し、7日間で5日以上目標を達成できた生徒の割合が70%以上となる。
- 「黒川っ子パワーアップ週間(生活習慣改善プロジェクト)」を中学校区で2回以上実施する。
- 体力テストで、全身持久力の結果が令和5年度の自己記録を上回る生徒の割合が60%以上となる。

☆経営の重点項目と方策

1 CS、キャリア教育の推進と充実

- ・学校運営協議会(CS)を中核とした家庭・地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。
- ・地域人材を活用した授業を一層推進する。

2 防災・安全教育、健康教育の充実

- ・新型コロナウイルス感染症の対策を含む健康管理意識を高め、組織的、計画的に安全管理及び安全対策の徹底を図る。
- ・自転車指導の徹底や防災教育の充実をととして、「自分の命は自分で守る」意識を高める。

3 特別活動、総合的な学習の時間の一層の充実

- ・自主的、実践的な集団活動を推進し、感動と連帯感を生み出す特別活動を一層充実させる。
- ・「知識・技能を重視」(1年)→「思考力・判断力・表現力を重視」(2年)→「学びに向かう態度を重視」(3年)と段階的に資質・能力を高めていく。

4 職員研修の充実

- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善及びICTの活用を推進する。

黒小CS 「こんな黒川っ子に」 ふるさと愛、夢、思いやり

黒中CS 「繋」 黒小CSとの方向性の共有

人権教育、同和教育の推進

- 胎内市人権尊重基本条例(解説付)に基づく教育活動の推進
- 9年間を見通した計画的な人権教育、同和教育の実践
- 自分のよさ、他の人のよさを認め、ともに大切にできる生徒
- 地域住民、特に高齢者を大切にできる生徒